

【議事概要】産業観光交流センター

問：コロナ禍の中で、今までの誘致、営業活動とは違う新たな目線が必要になるが、どのように考えているのか。

答：施設側のコロナ対策、感染症対策を示し、ガイドラインなどに従い、主催者の対策と重複しないよう協力しながら、事業に見合った形での提案をしていく。

問：ホームページを情報発信ツールとしてどのように受け止めているか。

答：現在のホームページは、今の時代にあっていない部分もあるため、次期指定管理期間に改善し、スマートフォン対応などを行いたい。

問：多目的ホールの稼働率65%を目指しているが、具体的にどのような内容で目標にしているのか。

答：設営や撤去により空白ができることなどを考慮すると稼働率を90%、100%にすることは不可能であり、最大限の目指すべき目標として65%を設定した。